

補助事業番号 2023M-210
補助事業名 2023年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 滋賀県

1 補助事業の概要

滋賀県製造業の基盤を担う中小企業の技術力向上と競争力の高い新製品開発へのチャレンジや新事業へのチェンジ等を支援するため、滋賀県工業技術総合センターに電気電子機器の最新試験規格の測定・評価ができる機器を導入し、企業に対して開放利用を促進することで、地域中小企業の振興に寄与することを目的とする。

2 予想される事業実施効果

本事業では、最新の評価機器を整備することで、県内中小企業が国内外のEMI（Electromagnetic Interference：電磁障害）試験規格に準拠した測定・評価を迅速に行える体制を構築する。本事業によって導入した機器を利用することで、高速デジタル回路やWi-Fiなどの無線機能の搭載を新たに求められる電気電子機器の製造企業等は、製品開発のスピードが向上し競争力の高い製品の創出が期待できる。

3 本事業により導入した設備

① 放射電磁界測定システム

(https://www.shiga-irc.go.jp/activities/opening_facilities/jka/)

「放射電磁界測定システム」は、電子機器等から放射される不要な電波の強度が、EMI規格で要求されている限度値を超えていないかを評価することができます。



設置場所：【滋賀県工業技術総合センター】

②本事業に係る印刷物等

- ・メールマガジン

タイトル：[IRCS News 3319] 滋賀県工業技術総合センターの新規導入機器のご紹介

(<https://www.shiga-irc.go.jp/ircsnews-archive/msg03283.html>)

[IRCS News 3319] 滋賀県工業技術総合センターの新 規導入機器のご紹介

- Subject: [IRCS News 3319] 滋賀県工業技術総合センターの新規導入機器のご紹介
- Date: Fri, 16 Feb 2024 10:24:12 +0900

IRCS News 滋賀県産業支援情報メールマガジン

滋賀県工業技術総合センターの新規導入機器のご紹介

滋賀県では、県内企業の皆様に身近に評価・分析機器などを御利用頂けるよう、公益財団法人JKAからの補助やデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、新しい機器を整備しております。

令和5年度は下記の機器を整備いたしましたので、御紹介いたします。
なお、実際の御利用には、利用・測定条件などを、各担当者までお問い合わせ頂きますよう、よろしくお願いたします。

■導入機器

- 放射電磁界測定システム
(令和5年度 財団法人JKA補助事業)
- 伝導電磁界測定システム
(令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金)

■公益財団法人JKA補助機器 一覧ページ

https://www.shiga-irc.go.jp/activities/opening_facilities/jka/

■問合せ先

滋賀県工業技術総合センター 電子システム係
滋賀県東海市上砥山232 TEL: 077-558-1500(代)

○本メールマガジンの登録変更手続きは以下をご覧ください。
<http://www.shiga-irc.go.jp/ircsnews/change>
○その他不明な点がある場合は下記アドレスまでご連絡ください。
[ircsnews-master\[at\]shiga-irc.go.jp](mailto:ircsnews-master[at]shiga-irc.go.jp)

滋賀県工業技術総合センター
<http://www.shiga-irc.go.jp/>

(メールマガジン文面)

・技術普及講習会 (令和6年3月8日開催)

タイトル: EMI測定技術講習会

令和5年度モノづくり技術力向上のための「技術研修」事業

「EMI測定技術講習会」

～EMI測定の基礎およびCISPR32・CISPR11の概要について～

参加費 無料

各種電気電子機器の開発には不可欠なEMC試験ですが、今回はEMC試験のうち、EMI(エミッション)測定に関する基礎知識および代表的な規格である「CISPR32」および「CISPR11」の概要について解説いたします。
また、今年度導入しました最新型EMIレーザ「R&S社ESW26」を使用したデモや機能紹介も行います。
これから装置を使用しようと思っておられる方はもちろん、すでに利用されている方にも有意義な講習になると思いますので、ご興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。

開催日時等
日時: 令和6年3月8日(金)
13時30分～15時30分
場所: 滋賀県工業技術総合センター
本館2階 大研修室
参加費: 無料
定員: 10名程度
締切: 3月4日(月)

講師
株式会社テクノサイエンスジャパン
代表取締役社長 山田 和謙氏

講習会内容

- 放射エミッション測定について
(MHz帯EMIとGHz帯EMIの違い等)
- 伝導エミッション測定について
- CISPR32の概要
(マルチメディア機器のエミッション規格)
- CISPR11の概要
(工業用、対車用及び医療用機器のエミッション規格)
- 最新EMIテストレーザ「R&S ESW26」によるデモ測定
(大研修室にて)

放射電磁界測定システム

本講習会で用いる装置は、公益財団法人JKAが実施する「令和5年度公益工業試験設備整備」における補助金の活用により導入されたものです。

お申し込み: <https://www.shiga-irc.go.jp/info/news>
お問い合わせ先: 滋賀県工業技術総合センター 電子システム係 山本
(滋賀県東海市上砥山232 TEL: 077-558-1500)

(チラシ紙面)



(講習会の様子)

新規導入機器の紹介

令和5年度に新規導入した機器をご紹介します。詳細は担当者にお尋ねください。

機器紹介

放射電磁界測定システム



本装置は公益財団法人JKAより機軸の補助金を受けて導入した機器です。



用途・特長

放射電磁界測定システムは電子機器等の供試機器から放射される不要な電磁波の強度が、放射エミッション規格で要求されている限度値を超えていないかの評価に使用する装置です。測定用アンテナは9kHz～30MHzではアクティブループアンテナ、30MHz～1GHzではハイブリッドアンテナ、1GHz～18GHzではホーンアンテナを使用します。

主な構成機器

- (1) EMIテストレシーバ
 - ・ Rohde & Schwarz 製 [ESW26]
- (2) アンテナ
 - ・ Schwarzbeck 製 [FMZB 1519-60C]
 - ・ Schwarzbeck 製 [VULB9168]
 - ・ ETS 製 [3117]
- (3) プリアンプ
 - ・ TSJ 製 [MLA-10k01-B01-14]
 - ・ TSJ 製 [MLA-0120-A02-34]
- (4) 電源インピーダンス安定化デバイス
 - ・ Rohde & Schwarz 製 [ENV216]
 - ・ Schwarzbeck 製 [CMAD 1614]
 - ・ ETS 製 [3117]
- (5) コムジェネレータ
 - ・ COM-POWER 製 [CGO-515]
 - ・ YORK 製 [CGE01KIT06]

雷サージ試験システム



用途・特長

雷サージ試験システムは落雷時に電源線から流入する誘導サージに対する電子機器等の耐性を評価する装置です。また、本装置は近年試験ニーズが高いLANケーブルへのサージ重畳を可能にする重畳ユニットを備えています。

主な構成機器

- (1) メインフレーム
 - ・ EMC Partner 製 [IMU-MGE-8]
- (2) サージ発生モジュール
 - ・ EMC Partner 製 [EXT-IMU3000 S8]
 - ・ EMC Partner 製 [EXT-IMU3000 T8]
- (3) 対称通信線重畳ユニット
 - ・ EMC Partner 製 [CDN-UTPB ED3]
- (4) 重畳ユニット用RJ45アダプタ
 - ・ EMC Partner 製 [ADAPTER BOX RJ45]

(担当：電子システム係 山本)

(掲載紙面)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 滋賀県工業技術総合センター

(シガケンコウギョウギジュツソウゴウセンター)

住所： 〒520-3004

滋賀県栗東市上砥山232

代表者： 所長 那須喜一（ナスヨシカズ）

担当部署： 電子システム係（デンシシステムカカリ）

担当者名： 主任主査 山本典央（ヤマモトノリオ）

電話番号： 077-558-1500

F A X： 077-558-1373

E-mail： ircs-info@shiga-irc.go.jp

U R L： <https://www.shiga-irc.go.jp/>